

遺愛生、高体連大活躍！！

与えられた時間で、中間テストも最善を。

高体連で遺愛の選手たちがとてもよく頑張り、本当に嬉しいです。

剣道部は地区団体21連覇達成、個人戦1位～4位まで独占で全道出場。春季で勢いづいている卓球部は団体準優勝、個人ダブルス準優勝・3位、シングルス3位と破竹の勢いです。羽球部は団体準優勝、個人もダブルス、シングルスとも4位に入り全道出場。弓道部は春季、団体は予選で敗退したのですが、高体連は決勝にすすみ、準優勝で全道出場。バレーボール部は、春季に負けた高校を予選で破り、決勝リーグでも大活躍し遺愛バレーボール史上初めて準優勝しました。バスケットボール部も頑張りました。やはり春季で負けた高校に逆転勝ち、決勝リーグでも強豪を破り3位になりました。前に負けたチームとやるときは、苦学意識が働き、またやられるケースが多いのですが、遺愛生はひ弱ではありませんでした。バレーもバスケも見事に勝利できたことに、精神的な成長を感じます。他にもソフトボール部、陸上部、ソフトテニス、山岳部、新体操、器械体操も全道大会出場を決めました。最終的には体育系部活で10の部活が全道を決めました。また文化系で、放送局が高文連放送コンテストで5部門において全道出場を決めています。

高体連の壮行式の時に、「残された2週間の練習を必死に頑張ってください。たかが2週間、されど2週間、この2週間にどのような練習をするかでチームはがらりと変わります。目標しっかり定めて、高い意識で良い練習をしてほしいと願います」というようなお話しでしたが、どこの部活も、意識の高い良い練習をし、春季より確実に高く大きな成果をあげました。本当に素晴らしいと思います。遺愛生を誇りに思います。

この勢いで、31日(金)からの中間テストも頑張ってくださいと願います。与えられた時間は少ないですが、「限られた与えられた時間の中で最善を尽くす」という考えをもち、取りくんでほしいと思います。中学・高校時代にこの考え方を身につけ、実行することができるようになったら、とても貴重な財産となるでしょう。

2013年5月30日(木)

